

あづか



町内で育った鴨の親子



子鴨も大きくなりました



第2回定例会

決まったこと 補正予算・主な質疑等 >>> P.2

一部事務組合議会報告等 >>> P.4

一般質問 2人が町政を問う >>> P.5

まちの元気 白茶生産 今西 哲也さん >>> P.8

茶農家への支援金支給 移動販売車購入等を追加

6月議会では、町長提案の新型コロナウイルス対策の追加事業を含む令和2年度補正予算の他、農業委員の任命、6件の条例改正等を審議し可決。また議員提案の意見書3件のうち2件を可決・採択しました。

一般会計の補正予算では、9750万円が補正され、そのうち新型コロナウイルス感染症対策関連事業に3781万2千円が計上されました。

茶農家に一律 10万円支給

最も大きな事業が、「茶業経営支援給付金」で、300軒の茶生産・販売農家を対象に一律10万円を給付。昨年の晩霜被害に続く今回の「コロナ危機」の影響で苦境にある茶業への激励を目的として支給されます。

商工会が移動 販売実施へ

商工会が実施予定の移動スーパー用の車両購入補助に300万円を計上。この

事業は、商工会が実施してきた「困り事サポート事業」を踏まえ、運営協議会で進められます。

避難所の感染 防止へ

大雨や台風シーズンを迎え、避難所での感染防止が

必要となる中、「三密」回避のための段ボール製の間仕切りを購入し、順次整備されます。

オンラインの 環境整備へ

小中学校でのオンライン教育の環境整備に向け、今

回は小学5・6年生、中学1年生の計51台のタブレットを購入。今年度中に全学年分を購入する予定です。



補正予算の主な内容

【新型コロナ感染対策関連】

- 茶業経営支援給付金 3004万7千円
- 農産物直売所運営補助 300万円
- 移動スーパー用車両補助 300万円
- 感染拡大防止対策 100万円
- 教育用タブレット購入 76万5千円

【その他の事業】

- おもてなし茶室デザイン・製作 400万円
- 茶器作製委託 214万5千円
- 和東茶ブランド化輸出促進補助 100万円
- 運動公園側溝整備 200万円
- 小児インフルエンザ予防接種助成 48万円
- 町道改良関係（祝橋、撰原・下島線など） 3050万円

新型コロナウイルス対策含む 補正予算を可決

予算可決も、厳しい意見相次ぐ

茶業経営支援など新型コロナ対策の補強も含む重要で必要な予算であり、全会一致で可決した一方で、厳しい意見が相次いだ事業も。

コロナ関連でも、移動スーパーや農産物直売所の運営や方向性に曖昧な部分や答弁がありました。また当初予算の倍以上の額が補正



整備中の直売所

された運動公園側溝整備にも厳しい指摘がありました。国の交付金を活用した観光等の事業では、400万円の予算を計上した移動式の茶室製作に特に意見が集中し、「今すべき事業か」等、再考を求める声も出され、コロナ対策でも、さらに生活に光を当てた施策をとの指摘もありました。

補正予算
Q&A

問 直売所の規模が大きすぎないか。見合つ需要と供給があるのか。

答 直売所、喫茶、事務所、厨房を設けるための大きさ。収益になるよう利用してもらいたい。

問 隣接にカフェがあるのか。

問 に喫茶を設けるのか。

答

喫茶店ではないがハーブの軽食を検討中。

問 利用農家は何軒か。

答

集約はしていないが現在募集をしている。

問 運動公園の側溝工事は当初に追加を予測していたのか。

答

最終見積を後に受けて布設替えに変更。

問 最終見積もない予算化は不適切だったのでは。

答

当初は大丈夫との見通しだったが、後で見積が出てきた。

問 移動販売の具体的な運営計画は。

答

伺っていないが、会員の中でやっていかれる。

問 茶農家への支援金の給付方法は。

答

本町で課税の方が対象。定額給付金に準じた方法を考えている。

問 支援金は収入認定など

条例を改正しました



6月議会では、消防団員公務災害補償条例、簡易水道事業給水条例、水道事業の監督者・技術管理者の配置や資格に関する条例、介護保険条例、手数料徴収条例、税条例の一部を改正しました。
※詳細はお問合せください。

問 税法上の扱いは。

税務署と協議し、周知したい。

問 「おもてなし茶室製作」の内容は。

茶畑前でお茶を飲む移動式茶室を検討。4〜5人規模。

問 再考すべきでは。

ニーズを確認しながら、判断したい。

意見書

第2回定例会（6月）に次のとおり意見書が提出され①・③の意見書は所管大臣等に送付しました。

① 営農支援の抜本的な強化、充実を求める意見書

可決

提案者 産業常任委員長
吉田哲也 議員
賛成者 全員

② 社会保障費削減をあらため、医療、保健、福祉の充実を求める意見書

否決

提案者 岡本正意 議員
賛成者 2人
反対者 6人

③ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金をはじめ、地方に対する財政措置の一層の充実を求める意見書

可決

提案者 岡田泰正 議員
賛成者 全員

農業委員会委員14名に同意

岡田 勝氏（別所）	藤田勝美氏（園）
松本喜代司氏（石寺）	前田芳孝氏（湯船）
和田嘉昭氏（別所）	喜多章浩氏（南）
北川 誠氏（門前）	中嶋幸雄氏（杣田）
渡邊光章氏（白栖）	中尾恵美氏（撰原）
濟藤正広氏（別所）	藤田敏幸氏（湯船）
谷本昌隆氏（下島）	坊 義隆氏（釜塚）

令和2年第2回定例会（6月）に提出された議案のうち賛否がわかれたもの。

各議員の賛否

審議結果	会議区分	議案名	議員名									
			岡田 勇	高山 豊彦	藤井 清隆	村山 一彦	吉田 哲也	井上 武津男	岡田 泰正	岡本 正意	畑 武志	小西 啓
可決	本	和東町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	欠	○	○	○	○	○	○	×	○	-
否決	本	社会保障費削減をあらため、医療、保健、福祉の充実を求める意見書	欠	×	×	×	×	○	×	○	×	-

※会議区分 本は本会議 ○は賛成 ×は反対 -は採決に加わらない 欠は欠席。
小西啓議長は本議会の採決に加わらない。

一部事務組合・広域連合議会報告

相楽中部消防組合議会

5月29日に第1回臨時会を開催。河井規子管理者から新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が解除された後も、感染拡大防止対策の継続に努めていると報告があった。副管理者に笠置町の中淳志町長が就任され、副議長には南山城村の梅本章一議員を選出した。補正予算は、全員賛成で承認。奈良市とのしご付自動車の共同購入についても全員賛成で可決した。

山城病院組合議会

5月18日に第1回臨時会を開催。河井規子管理者から新型コロナウイルスへの対応については、京都府感染症対策本部より支援を得ている。今後も対策本部や山城南保健所と連携し、第二种感染症指定医療機関として万全の対策を施すと報告があった。診療報酬改定による使用料等徴収条例の一部改正や、患者の投薬に関わる損害賠償額の決定についての専決処分等、承認2件、議案1件について可決承認した。

相楽東部広域連合議会

5月14日に第1回臨時会を開催。議長、副議長の選挙が行われ、議長に和東町の岡田勇議員を、副議長に笠置町の杉岡義信議員を選出した。補正予算は、全員賛成で承認。議員選出の監査委員に、南山城村の梅本章一議員を全員賛成で同意し選出した。

一般質問

町政を問う！ 提案する！

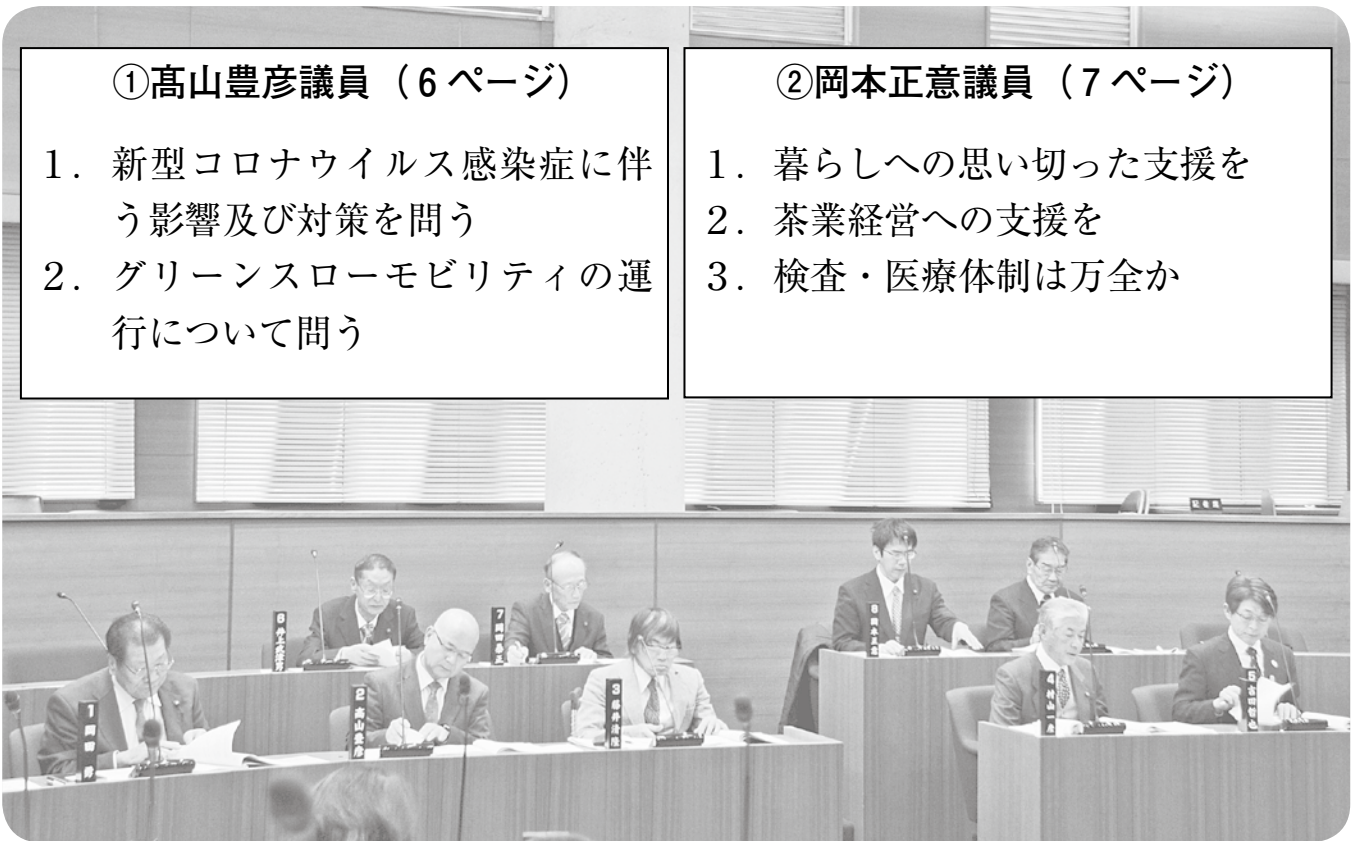
6月11日に行った一般質問には、2人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。各議員の質問項目を紹介します。

①高山豊彦議員（6ページ）

1. 新型コロナウイルス感染症に伴う影響及び対策を問う
2. グリーンスローモビリティの運行について問う

②岡本正意議員（7ページ）

1. 暮らしへの思い切った支援を
2. 茶業経営への支援を
3. 検査・医療体制は万全か



一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。



新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛要請による町内の経済や住民生活への影響と対策は



高山 豊彦 議員

町長

飲食・商工事業者、茶生産者にまで多大な影響を受けており、町独自の生活支援商品券や茶生産農家への給付金等の事業を進めている。

問 特別定額給付金の申請及び給付状況は。

答 総務課長

オンライン申請5月15日、郵送申請5月20日から受付を開始、6月10日現在で給付対象1704世帯の内1592件(93.4%)が申請。5月25日から順次振込を開始し19日までに1455件(約85%)の給付を完了する予定。

問 収入減少による各課への相談の状況は。

答 税住民課長

減免の相談が2件、町民税・固定資産税で申請書の申し出が各1件、固定資産税猶予の申請が1件あった。

答 福祉課長

くらしの資金は0件、社会福祉協議会の総合支援資金2件、緊急小口資金4件の貸付の他、制度の問い合わせが5件あった。

答 地域力推進課長

国からテレワークが推奨され町内の住民及び事業者(1事業者1名)を対象にしたサテライトオフィスに

12日間の利用。

観光関係施設では4月末までの合計で、前年比49.4%減少、観光消費額は約1430万円減少したが、相談案件はない。

答 建設事業課長

上下水道使用料・住宅使用料・駐車場使用料などの支払い猶予等の相談案件はない。

答 農村振興課長

商工事業者から京都府休業要請対象事業者給付金2件、新型コロナウイルス感染症対応緊急資金27件申請。茶業経営者から持続化給付金と高収益作物次期作支援交付金合わせて4件の相談があった。

問 災害時避難所の感染症対策は。

答 総務課長

避難所の感染対策としてマスク、アルコール消毒液、手洗い石けん、ペーパータオル、非接触型体温計や段ボール製簡易間仕切りを準備する。また、土砂災害警戒区域や浸水想定区域など区域を絞った避難誘導

等も検討する。

問 国・府・本町の支援対策を住民にわかりやすく発信するため、ホームページやチラシの作成など工夫が必要では。

答 総務課長

現ホームページの制約があり調整したい。町独自の施策はペーパーでお知らせする形で検討する。

問 国の地方創生臨時交付金の有効活用を。

答 町長

住民の皆さんが安心して安全に暮らせる活力あるまちづくりを進めたい。

グリーンズローモビリティの運行状況は

問 各コースの利用状況と路線バスとの乗り継ぎの状況は。

答 地域力推進課長

3月1日から3月29日までの土曜・日曜・祝日の10日間を運行し、中和東コース28人、石寺コース32人、計60人(住民の乗車体験8人含む)が利用。また、路

線バスへの乗り継ぎはない。

問 地域公共交通としての課題は。

答 総務課長

コロナ感染症対策や予想以上の運行経費が課題である。

問 計画中の総合保健福祉施設を公共交通の拠点となるターミナルとする考えは。

答 総務課長

今後、公共交通の拠点は必要。次の総合計画の中でその施設を盛り込みたい。



ターミナル化が期待される総合保健福祉施設(イメージ)



水道料金の免除、学生支援など 思い切った生活支援を

岡本 正意 議員

水道料金の免除は困難、学生支援は 検討していく

町長

問 水道基本料金の一定期間免除の実施を。

答 町長 財政的に厳しく検討できない。

問 今は平時ではない。ぜひ検討を。

答 町長 基本料金の割合が大きくなり難しい。

問 料金値上げの中止を。

答 町長 今年度内の改定は凍結する。

問 国保税の軽減を。
答 町長 コロナの影響に対する減免を実施する。

問 大学生、専門学生、高校生への支援として、①町奨学金制度の拡充②学生の下宿家賃や生活費、通学費への支援③高校生の通学補助拡充、教科書購入費への支援、の検討を。

答 総務課長 今回のところ考えていない

が、検討が必要と考える。

問 専門学生も町奨学金の対象に。

答 総務課長 検討したい。

茶業経営への支援を

問 「コロナ危機」の厳しい状況への認識と対策は。

答 町長 大きな影響を受けている。価格上昇は困難との判断から給付金支給を決めた。

問 持続化給付金の対象の把握、対象外農家への独自支援は。

答 農村振興課長 把握できていないが、今

後対応していきたい。

問 肥料や農薬、人件費などの「固定費」への支援の考えは。

答 農村振興課長 「高収益作物次期作支援交付金」が該当し、それで手当てできる。

問 荒廃農地拡大防止の手立ては。

答 農村振興課長 農業委員会と協議し検討したい。

問 茶農家の実態調査を実施しては。

答 農村振興課長 問屋、JA、農家などから十分聞いている。



基幹産業をどう支えるか

問 直接支援を要望し、町独自にも検討を。

答 町長 国・府とも連携して進める。町の財政を見極めて進めたい。



地域での検査体制は？

検査・医療体制は万全か
問 PCR検査等の実施体制の現状と今後の見通しは。町内での実施は可能か。

答 福祉課長 PCR検査センターを府内5か所で開設予定。町内での実施は困難。

問 医療機関等での受入れ体制の現状、インフルエンザ流行期への備えは。

答 町長 子どもの予防接種助成を12歳まで拡充する。

荒廃茶園から新たな展開を

～今西 哲也さん(原山)～

Q 自己紹介をお願いします。

A 11年前に家業を継ぎ、9年前から直売を始め、オンラインショップや催事に出展する中で、お茶や町のPRをしながらいろいろな方と接点を持てる活動を続けています。「茶源郷まつり」の企画委員や、同級生と一緒に援農プロジェクトの立ち上げ等の活動をしてきました。



Q 白茶とはどんなお茶ですか？

A 中国茶の一種で、緩く発酵させた微発酵茶に分類されます。新芽の一芯一葉とか二葉の先端部分を摘んで、ゆっくり自然乾燥させたものです。

Q 白茶づくりに取り組んだきっかけは？

A 荒廃茶園が多くなる中で問題意識を持ち、「何かできないか」と以前から白茶作りに取り組まれている中尾恵美さんと話し、荒廃茶園で作った白茶を飲ませてもらい、凄く美味しく感じたことです。

Q これまでの活動は？

A 4年程になり、昨年の「茶源郷まつり」で荒廃茶園を借りて活動されているメンバーと「白茶プロジェクト」を企画しました。その後も町内の仲間と一緒に活動を続けています。

Q 今後の目標は？

A 荒廃茶園の存在を多くの人に知ってもらい、問題意識をもってもらうことで大きな力になればと思っています。今まであったものを大切にしつつ、新しい取組みも若い人を中心に一人でも多くの方がアクションを起こしてくれたらいいなと思います。

Q 今後の和東茶について思うことは？

A 和東のお茶に付加価値をつけて市場に流してくれるパートナーが必要で、そうした若い人が移住しやすい環境づくりができればと思います。

荒廃茶園が広がり、管理できない場所も出てくるので、長期的な時系列のシミュレーションをしながら管理できるエリアを整理していくことが急務だと思います。

(取材 岡本正意・高山豊彦)

編集後記

6月には、ほとんどの市町村議会でも、新型コロナウイルス感染症対策が議論されました。本議会でも感染拡大に伴う一般質問や経済対策を議論し、茶農家への支援等も予算計上しました。

新型コロナウイルス感染症は、世界中で各方面へ例外なく影響を及ぼし、本町でも全てのイベント等が中止、消費停滞は茶価にも打撃を与えました。

災害といえば地震、台風、豪雨が常で、近年は原子力災害も発生しましたが、目に見えない災害を身近に感じたのは今回が初めてです。誰もが不安の中で生活し、今できる事は、「3密」等感染予防に注意し、第2波を警戒する以外にありません。

今回の議会だよりは、それらを含め、町政の一端をお届けしました。皆さんのご意見をお聞かせいただければ幸いです。

(畑 武志)

広報編集委員会

委員長	岡本正意
副委員長	井上武津男
委員	高山豊彦
委員	畑武志
委員	岡田勇

第3回定例会は、9月10日開催予定。